

まちづくりの基本方針	2	豊かな学び、文化が根づくまちづくり		
施策の方向	(1)	学校教育	該当ページ	P34
基本方針	幼児や児童、生徒が豊かな心で健やかに学べるよう、快適な学習環境の整備を図り、「知・徳・体」の調和のとれた学校教育に努めます。			
施策の体系	施設整備の充実			

○実施計画事業

事業No.	1	学校向フィルタリングサーバ及びクライアント環境構築委託			事業課	総務課
予算	事業名	電算事務運営事業				
	科目	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目 10 電子計算費
個別計画/条例		—			目標年次等	H30
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	パソコン授業の際に不適切な単語での検索・サイトの閲覧を監視し、健全なIT情報・技術の習得を図る。また最新のフィルタリングソフトを導入することにより、授業の効率化を図り、より多くの学びの機会を提供する。					
事業対象	与那原中学校・与那原東小学校・与那原小学校の児童生徒					
目標値	<ul style="list-style-type: none"> 最新のフィルタリングシステムの確立。 各学校毎に適したフィルタリング環境の確立。 				H29年度	保守・運用
					H30年度	保守・運用
現状値	<ul style="list-style-type: none"> 不適切な単語やサイトの登録が教職員による手動であるため、最新の情報への更新、調査へ時間がかかる。 無償ソフトを使用しているため、効率が著しく低く、授業を進めるにあたっての障害となっている。 					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費	454 千円	事業費	454 千円		
	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の運用実績を見直し、フィルタリング設定値の再設定 サーバ機器の正常稼働保証のため運用保守の委託 		<ul style="list-style-type: none"> 前年度の運用実績を見直し、フィルタリング設定値の再設定 サーバ機器の正常稼働保証のため運用保守の委託 			

まちづくりの基本方針	2	豊かな学び、文化が根づくまちづくり		
施策の方向	(1)	学校教育	該当ページ	P34
基本方針	中学生、高校生を夏休み期間中に海外に派遣し、グローバル社会に対応した人材の育成を図る。			
施策の体系	体験学習の充実			

○実施計画事業

事業No.	2	海外短期留学派遣事業	事業課	学校教育課		
予算	事業名	事務局運営事業				
	科目	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目
個別計画/条例		—		目標年次等	H30	
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	中学生、高校生を夏休み期間中に海外に派遣し、グローバル社会に対応した人材の育成を図る。					
事業対象	与那原町在住中学2年生及び高校生					
目標値	計画に沿った派遣の実施	29年度		6名		
		30年度		6名		
現状値	毎年計画に沿った派遣を行っている。					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費	2,175 千円	事業費	2,175 千円		
	6人派遣		6人派遣			

まちづくりの基本方針	2	豊かな学び、文化が根づくまちづくり		
施策の方向	(1)	学校教育	該当ページ	P34
基本方針	外国語指導助手（JET）を配置することにより、英語教育の推進を図る。			
施策の体系	学力向上のための授業改善			

○実施計画事業

事業No.	3	J E Tプログラム事業	事業課	学校教育課		
予算	事業名	J E Tプログラム事業（外国語指導助手）				
	科目	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目
個別計画/条例	—			目標年次等	H30	
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	外国語指導助手を配置することにより、英語に親しみ、併せて外国文化に触れることを目標とする。					
事業対象	与那原町立学校児童生徒					
目標値	継続的なJ E T配置	H29年度	1名			
		H30年度	1名			
現状値	計画的にJ E Tを配置している					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費	4,336 千円	事業費	4,336 千円		
	J E T 1人配置		J E T 1人配置			

まちづくりの基本方針	2	豊かな学び、文化が根づくまちづくり		
施策の方向	(1)	学校教育	該当ページ	P34
基本方針	将来を担う児童生徒の学力向上及び人材育成を図る為、デジタル教科書の活用 の充実、電子黒板を整備する。また、各教職員や情報教育支援員が、ICTを活用 した、きめ細かな教育が支援できるよう人員配置を行う。			
施策の体系	学力向上のための授業改善			

○実施計画事業

事業No.	4	学校ICT環境整備等による 学習意欲学力向上推進事業			事業課	学校教育課
予算	事業名	次代を担う人材育成事業				
	科目	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目 2 事務局費
個別計画/条例		—			目標年次等	H30
事業期間	平成24年度～30年度					
事業目標	情報支援員配置による情報教育の推進 中学校における電子黒板の導入 中学校 100%					
事業対象	与那原町内児童生徒					
目標値	<ul style="list-style-type: none"> 情報教育支援員の配置 2人 電子黒板の整備 100% 				H29年度	2名
					H30年度	2名
現状値	<ul style="list-style-type: none"> 情報教育支援員2人 					
年度別 事業 内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費	63,133 千円	事業費	11,513 千円		
	<ul style="list-style-type: none"> 情報教育支援員の配置2人 小学校に電子黒板 		<ul style="list-style-type: none"> 情報教育支援員の配置2人 			

まちづくりの基本方針	2	豊かな学び、文化が根づくまちづくり		
施策の方向	(1)	学校教育	該当ページ	P34
基本方針	特別な支援を要する児童生徒をはじめ、学習の遅れ気味な児童生徒に対し、個に応じたきめ細かな支援を行う為に、特別支援教育コーディネーター、スクールカウンセラー・学習支援員・特別支援員を配置する。			
施策の体系	個に応じた学校教育及び関係機関との連携強化			

○実施計画事業

事業No.	5	きめ細かな児童生徒支援事業	事業課	学校教育課		
予算	事業名	次代を担う人材育成事業				
	科目	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目
個別計画/条例		—		目標年次等	H30	
事業期間	平成24年度～30年度					
事業目標	特別支援教育コーディネーター、学習支援員、スクールカウンセラー、特別支援教育支援員を配置することにより、全国学力調査の平均正答率において、全国との差を前年度比0.2ポイント縮め、上回る年度以降においてはその学力維持に努める。 また、当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校復帰など改善目標年間1～2名減を目指す。					
事業対象	与那原町立学校児童生徒					
目標値	学習支援員の配置21名、 スクールカウンセラーの配置1名、 特別支援教育支援員の配置26名、 合計で年間50名程度の配置を目標とする		H29年度	計46名		
			H30年度	計49名		
現状値	<ul style="list-style-type: none"> 学習支援員20名 特別支援教育支援員20名 スクールカウンセラー1名 特別支援教育コーディネーター1名 放課後学習支援員5名 					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)			
	事業費 80,345 千円		事業費 96,511 千円			
	<ul style="list-style-type: none"> 学習支援員20人 特別支援教育支援員20人 学校カウンセラー1人 特別支援教育コーディネーター1人 放課後学習支援員5人 		<ul style="list-style-type: none"> 学習支援員21人 特別支援教育支援員26人 学校カウンセラー1人 特別支援教育コーディネーター1人 放課後学習支援員5人 			

まちづくりの基本方針	2	豊かな学び、文化が根づくまちづくり		
施策の方向	(1)	学校教育	該当ページ	P34
基本方針	沖縄振興の発展に重要な国際的感覚や視点を身に付ける人材育成の為に、英語指導員(ALT)の他に英語指導の補助員の配置、スポーツを通じた外国語活動及び国際理解教育を充実させる。			
施策の体系	学力向上のための授業改善			

○実施計画事業

事業No.	6	国際理解人材育成事業	事業課	学校教育課
予算	事業名	次代を担う人材育成事業		
	科目	款	項	目
		10 教育費	1 教育総務費	2 事務局費
個別計画/条例	—			目標年次等
	H30			
事業期間	平成24年度～30年度			
事業目標	英語指導助手の配置2名			
事業対象	与那原町立学校児童生徒			
目標値	英語検定取得(1～4級) 135人	H29年度	2名	
		H30年度	2名	
現状値	・英語指導助手2名			
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)	
	事業費 12,247 千円		事業費 6,544 千円	
	<ul style="list-style-type: none"> ・英語指導助手の配置2人 ・スポーツイングリッシュスクール(2団体) 		<ul style="list-style-type: none"> ・英語指導助手の配置2人 	

第4次与那原町総合計画実施計画

まちづくりの基本方針	2	豊かな学び、文化が根づくまちづくり		
施策の方向	(2)	家庭教育	該当ページ	P37
基本方針	家庭教育に関する知識や技能等の情報提供や支援の整備体制整備など、家庭教育支援の充実を図ります。			
施策の体系	各家庭における家庭教育の推進			

○実施計画事業

事業No.	1	講演会開催	事業課	学校教育課		
予算	事業名	学力向上講演会事業				
	科目	款	10教育費	項	1 教育総務費	目
個別計画/条例		—		目標年次等	H30年度	
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	家庭教育に資する講演会を教員又は保護者対象に開催する。					
事業対象	教員又は保護者					
目標値	計画に沿った講演会の実施	H29年度		1回		
		H30年度		1回		
現状値	毎年計画に沿った事業を実施している。					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費	150 千円	事業費	150 千円		
	講演会 1回開催		講演会 1回開催			

第4次与那原町総合計画実施計画

まちづくりの基本方針	2	豊かな学び、文化が根づくまちづくり		
施策の方向	(2)	家庭教育	該当ページ	P37
基本方針	食育の推進を図る			
施策の体系	学校・家庭で連携した食育の推進			

○実施計画事業

事業No.	2	食育推進事業	事業課	学校教育課
予算	事業名	-		
	科目	款	項	目
		-	-	-
個別計画/条例	-		目標年次等	H30年度
事業期間	平成29年度～平成30年度			
事業目標	給食センター栄養士が各学校に出向き、食育に資する授業を行う。			
事業対象	与那原町立学校の児童生徒			
目標値	計画に沿った授業の実施	H29年度	各学年1回	
		H30年度	各学年1回	
現状値	毎年計画に沿った事業を実施している。			
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)	
	事業費 - 千円		事業費 - 千円	
	各学年、学級における食育授業の実施		各学年、学級における食育授業の実施	

まちづくりの基本方針	2	豊かな学び、文化が根づくまちづくり		
施策の方向	(3)	社会教育	該当ページ	P39
基本方針	国際交流の一環として、与那原町出身の海外移住者の子弟を研修生として受け入れ、日本語の研修や専門的な技術等を習得してもらい、与那原町、沖縄県民との友好親善の橋渡しとしての人材の育成を図る。			
施策の体系	人材の育成・活用			

○実施計画事業

事業No.	与那原町海外友好親善大使人材育成事業			事業課	総務課	
予算	事業名	与那原町海外友好親善大使人材育成事業（沖縄振興特別推進事業）				
	科目	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目
個別計画/条例		与那原町海外友好親善大使人材育成事業実施規則		目標年次等		H30年度
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	研修修了生は、帰国後に研修で学んだ日本や沖縄の伝統文化を母国で継承し、沖縄コミュニティの発展に寄与するとともに、移住先国の町人会や県人会において中心的役割を担うことで、本町・本県との交流の架け橋としてその活躍が期待される。本町では、町最大の伝統文化である「与那原大綱曳」に参加してもらうことで、ユナバルンチュとしての誇り・アイデンティティを高め、さらに町民との交流を深めることができるため、友好親善大使としての意識向上及びネットワークの強化を図る。					
事業対象	与那原町出身の海外移住者子弟					
目標値	南米各国から毎年2名を受け入れ。今後は派遣事業も視野に入れる。			H29年度	2名受入	
				H30年度	2名受入	
現状値	平成21年度より毎年2名ずつ南米各国から研修生を受け入れ、約3カ月間、日本語研修及び文化研修を中心に行っている。地域行事にも積極的に参加し、さらに町内の小・中学校や事業所を訪問することで異文化交流を図っている。					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費	3,331 千円	事業費	3,331 千円		
	・研修生受入（日本語及び文化研修、地域イベント参加等）		・研修生受入（日本語及び文化研修、地域イベント参加等）			

まちづくりの基本方針	2	豊かな学び、文化が根づくまちづくり		
施策の方向	(3)	社会教育	該当ページ	P39
基本方針	多種多様な人材を発掘し、生涯学習活動が行える人材の活用に努めます。また、多種多様な学習の要望に応えるため、地域や行政が一体となって、幅広い人材の育成に努めます。			
施策の体系	人材の育成・活用			

○実施計画事業

事業No.	2	社会教育事務運営事業		事業課	生涯学習振興課	
予算	事業名	放課後子ども教室事業・社会教育事務事業・学校支援地域本部事業				
	科目	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目
個別計画/条例		—			目標年次等	H30
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	多様な人材を発掘し、生涯学習活動が行える人材の活用に努める。また、多種多様な学習要望にこたえるため、地域と一体となって幅広い人材の育成に努める。					
事業対象	全町民					
目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・町内史跡、歴史ガイド養成講座と連携 ・町内在住の外国人を活用した外国語講座 ・既存サークルを活用した講座の実施 ・地域大学との連携講座の実施 ・庁内各課を活用した出前講座の実施 ・指導者、ボランティアの養成と広域での学習情報ネットワークの構築、人材バンクの整備と活用システムの確立 			H29年度	年29講座	
				H30年度	年29講座	
現状値	<ul style="list-style-type: none"> ・行政主導の傾向になっている。 ・人材バンクへの登録が少ない。 ・住民主体の講座への指導員養成ができていない。 ・多様なジャンルに対応できるだけの講師やコーディネーターの充実が必要。 					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費	8,818 千円	事業費	8,818 千円		
	<ul style="list-style-type: none"> ・各種事業への講師、サークル等の派遣コーディネーター ・放課後子ども教室の開催 ・学校支援地域本部事業の実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・各種事業への講師、サークル等の派遣コーディネーター ・放課後子ども教室の開催 ・学校支援地域本部事業の実施 			

まちづくりの基本方針	2	豊かな学び、文化が根づくまちづくり		
施策の方向	(3)	社会教育	該当ページ	P40
基本方針	子どもから高齢者まで幅広い生涯学習を行うため、生きがいづくりとなる学習機会や各種活動の拠点となる学習環境の整備に努めます。			
施策の体系	さまざまなニーズに応えた学習や講演会、シンポジウムの開催、コミュニティーセンターや公民館の充実、講師の確保			

○実施計画事業

事業No.	3	公民館講座・サークル育成事業	事業課	生涯学習振興課		
予算	事業名	公民館管理運営事業				
	科目	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目
個別計画/条例		—		目標年次等	H30	
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	住民の教養を高めるため、さまざまなニーズに応えた学習や講演会、シンポジウムなどの開催に取り組む。 コミュニティーセンターや公民館、図書館等を生涯学習の拠点として充実を図る。 町民の学びへの意欲を推進し、自立した学習体制を確立する。					
事業対象	全町民					
目標値	<ul style="list-style-type: none"> • 様々なニーズにあった講座、教室の開催ができています。 • サークルの活用、自主活動等の支援が行われている。 	H29年度	年20回			
		H30年度	年20回			
現状値	<ul style="list-style-type: none"> • 教室、講座、研修会等の内容が固定化している。 • 子どもから高齢者まで、地域で生きがいづくりができるようなサポートを行わなければならない。 • 様々なニーズにあわせた学習や講演会、シンポジウム等の開催が求められている。 • 幅広い生涯学習を行うために、多様な講師の確保が必要。 • 公民館や図書館等を利用した学習の場所を増やす必要がある。 • 高校生や大学生が地域の子供達に勉強を教えあえる環境作りが必要。 					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)			
	事業費 17,757 千円		事業費 17,757 千円			
	<ul style="list-style-type: none"> • 公民館講座の開催 • サークル連絡協議会の開催 • 公民館管理運営事業 		<ul style="list-style-type: none"> • 公民館講座の開催 • サークル連絡協議会の開催 • 公民館管理運営事業 • 生涯学習振興大会 			

まちづくりの基本方針	2	豊かな学び、文化が根づくまちづくり		
施策の方向	(3)	社会教育	該当ページ	P40
基本方針	子どもから高齢者まで幅広い生涯学習を行うため、生きがいづくりとなる学習機会や各種活動の拠点となる学習環境の整備に努めます。			
施策の体系	さまざまなニーズに応えた学習や講演会、シンポジウムの開催、コミュニティーセンターや公民館の充実			

○実施計画事業

事業No.	4	図書館事務運営事業			事業課	生涯学習振興課
予算	事業名	図書館事務運営事業				
	科目	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目
個別計画/条例		—			目標年次等	H30
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	図書の貸出・返却はもとより、検索システム（OPAC）、予約システム、WEB OPACサービスなど、利用者がより利用しやすい図書館を目指す。 また、県内の図書館が連携し、他館の蔵書を確認でき相互貸借がスムーズにできるようにシステムを構築する。					
事業対象	与那原町民及び町内在勤・在学の利用者					
目標値	現行機能を向上させ、より利用者にとって使いやすいシステムを構築していく。また、帳票の細かいデータを基に、これからの図書館運営に生かしていく。	H29年度	システム更新・通常業務			
		H30年度	通常業務			
現状値	WEBでの予約・図書の貸出延長ができないため、次年度に向けて改善していく。また、なかなか連絡の取れない利用者に対して、メールにて連絡する方法も模索しており、次年度に向けて検討したい。					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費 13,135 千円		事業費 13,135 千円			
	・図書の貸出・返却 ・検索システム（OPAC）、予約システム、WEB OPACサービス ・読み聞かせ ・各種イベントの開催 など ・システム更新事業費は補正対応のため年度当初の予算には含まれていない。		・図書の貸出・返却 ・検索システム（OPAC）、予約システム、WEB OPACサービス ・読み聞かせ ・各種イベントの開催 など			

まちづくりの基本方針	2	豊かな学び、文化が根づくまちづくり		
施策の方向	(3)	社会教育	該当ページ	P41
基本方針	次世代を担う青少年が、安全・安心で健全な生活を行うために、家庭や学校、地域が連携し、青少年の健全育成を図る取り組みを進めます。			
施策の体系	夜間パトロールの実施、各種発表会や大会の実施、各種関係機関との連携			

○実施計画事業

事業No.	5	社会教育団体支援育成事業			事業課	生涯学習振興課
予算	事業名	社会教育事務運営事業				
	科目	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目 1 社会教育総務費
個別計画/条例		—			目標年次等	H30
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> 各社会教育団体、各種団体との密な連携と情報の共有を図り、地域ぐるみで青少年の健全育成を図る。 各団体の育成、支援を行い子ども達を取り巻く環境改善に努める。 					
事業対象	全町民					
目標値	<ul style="list-style-type: none"> 青少年健全育成町民大会の実施 青少年健全育成町民パレードの実施 実務者、構成団体役員研修会の実施 啓蒙、啓発講演会の実施 世代間交流スポーツ大会の実施 				H29年度	年16回 (夏休み巡回除く)
					H30年度	年16回 (夏休み巡回除く)
現状値	<ul style="list-style-type: none"> 夜間外出などの問題行動をおこす子どもたちが見られます。 インターネット等の普及により、有害サイトへのアクセスが容易になり、様々な悪影響が生じています。 子ども達に夜間外出をさせ新環境づくりが求められています。 心豊かな人間になってもらうため、子どもたちへの心の教育が必要です。 青少年を健全に育成するため、基本生活習慣の確立を図る必要があります。 					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費	900 千円	事業費	900 千円		
	<ul style="list-style-type: none"> 町民大会 少年の主張大会の開催 研修(講演会等)の開催 「少年を守る日」(毎週第3金曜日)巡回の実施 夏休み夜間広報の実施 三世代パークゴルフ大会及びファミリースポーツまつりの開催(教育委員会との共催事業) 		<ul style="list-style-type: none"> 町民大会 少年の主張大会の開催 研修(講演会等)の開催 「少年を守る日」(毎週第3金曜日)巡回の実施 夏休み夜間広報の実施 三世代パークゴルフ大会及びファミリースポーツまつりの開催(教育委員会との共催事業) 			

まちづくりの基本方針	2	豊かな学び、文化が根づくまちづくり		
施策の方向	(4)	文化・スポーツ活動	該当ページ	P42
基本方針	本町には、与那原大綱曳や赤瓦などの歴史・文化資源や伝統芸能が先人から受け継がれています。町の重要な財産として今後も、歴史・文化資源の保全・活用を図り、伝統芸能の継承発展並びに新たな文化の創造に努めます。			
施策の体系	文化財の調査・登録・保全整備、民族・歴史資料収集、企画展開催、小中学生への伝統行事への参加促進、文化協会との連携、文化協会と連携した文化の向上、「島くとうば」継承			

○実施計画事業

事業No.	1	社会教育事務運営事業			事業課	生涯学習振興課
予算	事業名	綱曳資料館管理事業・町史編集事業				
	科目	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目 1 社会教育総務費
個別計画/条例		—			目標年次等	H30
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	本町に継承されている伝統、文化を町民の財産として、保全活用を図り、後世への継承と新たな文化の創造に努める。					
事業対象	全町民					
目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発刊計画に伴う書籍発刊（資料収集・編集・校正等） ・ 綱曳資料館の維持管理（館内刷新の業務は一括交付金事業へ移行） 	H29年度	発刊にむけて編集作業及び施設維持管理			
		H30年度	町史発刊及び施設の維持管理			
現状値	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発刊系計画に伴う書籍の発刊（資料収集・編集・校正等） ・ 綱曳資料館において、与那原大綱に関連する資料収集及び展示を行っている。 ・ 保育園や幼稚園の行事に与那原まつりを取り入れるなど町の伝統文化である与那原大綱曳の継承に取り組んでいる。 ・ ふれあい文化フェスティバルの開催など、文化協会と連携した伝統文化の継承発展に取り組んでいる。 ・ 一括交付金を活用した歴史・文化の整備に向けた事業を行っている。 					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費 15,636 千円		事業費 13,168 千円			
	※事業費に一括交付金整備費は含まない		※事業費に一括交付金整備費は含まない			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 町史編集事業の継続 ・ 文化教育へ町特産品の活用の提唱 ・ 文化協会との連携事業の開催 ・ 「島くとうば大会」の開催 ・ ふれあい文化フェスティバル 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 町史編集事業の継続 ・ 文化教育へ町特産品の活用の提唱 ・ 文化協会との連携事業の開催(文化フェスティバル) ・ 「島くとうば大会」の開催 				

まちづくりの基本方針	2	豊かな学び、文化が根づくまちづくり		
施策の方向	(4)	文化・スポーツ活動	該当ページ	P42
基本方針	本町には、与那原大綱曳や赤瓦などの歴史・文化資源や伝統芸能が先人から受け継がれています。町の重要な財産として今後も、歴史・文化資源の保全・活用を図り、伝統芸能の継承発展並びに新たな文化の創造に努めます。			
施策の体系	文化財の調査・登録・保全整備、文化財と触れ合う機会の推進			

○実施計画事業

事業No.	2	社会教育事務運営事業			事業課	生涯学習振興課
予算	事業名	文化財事務運営事業				
	科目	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目 1社会教育総務費 3文化財保護費
個別計画/条例		—			目標年次等	H30
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	本町に継承されている伝統、文化を町民の財産として、保全活用を図り、後世への継承と新たな文化の創造に努める。					
事業対象	全町民					
目標値	<ul style="list-style-type: none"> 町内の文化財の調査業務 文化財の指定及び町指定文化財の維持管理 開発行為等の申請に伴う現地調査・立会調査 文化財マップの作成 				H29年度	文化財の保護及び調査業務
					H30年度	文化財の保護及び調査業務
現状値	<ul style="list-style-type: none"> 町内の文化財の調査業務 文化財の指定及び町指定文化財の維持管理や修繕 開発行為等の申請に伴う現地調査・立会調査 					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)			/
	事業費 129,996 千円		事業費 未定 千円			
	<ul style="list-style-type: none"> 文化財の調査、登録、保全整備、意見収集、設計 開発行為等の申請に伴う現地調査・立会い調査 		<ul style="list-style-type: none"> 文化財の調査、登録、保全整備、意見収集、設計 開発行為等の申請に伴う現地調査・立会い調査 			

まちづくりの基本方針	2	豊かな学び、文化が根づくまちづくり		
施策の方向	(4)	文化・スポーツ活動	該当ページ	P42
基本方針	本町には、与那原大綱曳や赤瓦などの歴史・文化資源や伝統芸能が先人から受け継がれています。町の重要な財産として今後も、歴史・文化資源の保全・活用を図り、伝統芸能の継承発展並びに新たな文化の創造に努めます。			
施策の体系	文化財の調査・登録・保全整備、民族・歴史資料の収集・企画展展開、文化財と触れ合う機会の推進			

○実施計画事業

事業No.	3	社会教育事務運営事業	事業課	生涯学習振興課		
予算	事業名	「御新下り」関連史跡復元・周辺整備・歴史資料館(仮称) 整備事業				
	科目	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目
個別計画/条例		—		目標年次等	H30	
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	歴史・文化を後世に継承し、歴史文化を発信する為、「御新下り」関連の史跡等を復元し、歴史資産を構築し、新たな観光資源としての活用を図る。更に安全に来訪者を迎えるための周辺整備を行う。					
事業対象	全町民					
目標値	「歴史の道基本計画及び綱曳資料館活用検討事業」(課題の整理、基本方針、基本施策の決定など)				H29年度	整備基本計画の策定
					H30年度	基本設計・実施設計・事業認定申請等
現状値	<ul style="list-style-type: none"> 町指定の文化財である「御殿山」「三津武嶽」「親川」は文化財的価値はあるものの、本体や周辺整備、維持管理を行うための補助金がなく町単独の事業費で維持管理を行ってきた。今回、一括交付金を利用し文化財本体や文化財周辺の整備をすることにより、今後の観光資源として確立させ、町の文化財として後世に継承していくための足場作りを行いたい。 					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費 39,658 千円		事業費 未定 千円			
	<ul style="list-style-type: none"> 「歴史の道基本計画及び綱曳資料館活用検討事業」(課題の整理、基本方針、基本施策の決定など) ※今年度、年度当初で認められたのは10,500千円であるため、9月補正でマイナス補正を行う予定である。 		<ul style="list-style-type: none"> 基本設計、実施設計、事業認定申請等 			

まちづくりの基本方針	2	豊かな学び、文化が根づくまちづくり		
施策の方向	(4)	文化・スポーツ活動	該当ページ	P44
基本方針	子どもから高齢者まで、誰でも気軽に参加できる軽スポーツやレクリエーションの充実に努めます。また、学校及び関係機関と連携をとりながらスポーツ競技力の向上を目指して支援に努めます。			
施策の体系	関係機関との連携、指導者の育成、各種教室やスポーツ大会の開催			

○実施計画事業

事業No.	4	保健体育事業	事業課	生涯学習振興課		
予算	事業名	保健体育事業				
	科目	款	10 教育費	項	6 保健体育費	目
個別計画/条例		—		目標年次等	H30	
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	スポーツやレクリエーションを通して、町民の健康と融和を図り、生涯スポーツの普及と生きがいに努める					
事業対象	全町民					
目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ、レクリエーションが充実している。 ・住民の健康推進としての生涯スポーツを推進するうえで、関係機関と連携が図られている。 ・住民が気軽に参加できるような各種教室やスポーツ大会を開催している。 ・様々な競技、レクリエーションに対応できる指導者の育成を行っている。 ・スポーツ施設の整備、充実が図られている。 		H29年度	年12回		
			H30年度	年12回		
現状値	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団を中心としたスポーツ活動が行われているが、子ども達の参加が少ない。 ・様々な競技、レクリエーションの指導者が少ない。 ・住民が積極的にスポーツ活動に参加できる環境が整っていない。 ・地域総合型スポーツクラブの設立と各種クラブやサークルへの支援が必要。 ・様々な競技、レクリエーションに対応できる。指導者の育成と人材バンクへの登録促進を図る必要がある。 ・マリナーや水路を生かしたマリンスポーツ活動を支援する必要がある。 ・誰でも気軽に取り組める生涯スポーツを充実させる必要がある。 					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)			
	事業費 10,359 千円		事業費 10,359 千円			
	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団各大会の開催 ・三世代パークゴルフ大会及びファミリースポーツまつりの開催(青少協との共催事業) ・ニュースポーツの普及教室、大会の開催 ・よなばるてくてくウォークの開催 ・パークゴルフ事業の普及と推進 		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団各大会の開催 ・三世代パークゴルフ大会及びファミリースポーツまつりの開催(青少協との共催事業) ・ニュースポーツの普及教室、大会の開催 ・よなばるてくてくウォークの開催 ・パークゴルフ事業の普及と推進 			

まちづくりの基本方針	2	豊かな学び、文化が根づくまちづくり		
施策の方向	(4)	文化・スポーツ活動	該当ページ	P44
基本方針	子どもから高齢者まで、誰でも気軽に参加できる軽スポーツやレクリエーションの充実に努めます。また、学校及び関係機関と連携をとりながらスポーツ競技力の向上を目指して支援に努めます。			
施策の体系	施設整備の充実			

○実施計画事業

事業No.	5	社会教育事務運営事業			事業課	生涯学習振興課
予算	事業名	与那原町観光交流施設維持管理事業				
	科目	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目 1 社会教育総務費
個別計画/条例		—			目標年次等	H30
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	スポーツやレクリエーションを通して、町民の健康と融和を図り、生涯スポーツの普及と生きがいに努める					
事業対象	全町民					
目標値	○「与那原町観光交流施設」の管理運営を指定管理者へ委託する。				H29年度	指定管理
					H30年度	指定管理
現状値	<p>・平成27年10月にオープンした「与那原町観光交流施設」は生涯学習振興課が主管課となり、管理運営を行ってきた。今年度は指定管理者への管理運営の委託を行うこととなっている。</p>					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)			/
	事業費	11,228 千円	事業費	11,228 千円		
	○「与那原町観光交流施設」の管理運営を指定管理者へ委託等		○「与那原町観光交流施設」の管理運営を指定管理者へ委託等			